

男女共同参画社会づくりのための市民アンケート

～アンケート調査の趣旨とご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

南あわじ市は、平成 30 年度から令和 4 年度までを計画期間とする「第 2 次南あわじ市男女共同参画計画」を策定し、「男女がともに希望をもち自分らしく活躍できるまち」の実現をめざし取り組みを進めています。

本市では、引き続き男女共同参画社会づくりに取り組むため、次期計画(第 3 次)を策定したいと考えており、このため、市民の皆さまの男女共同参画に関する意識などについて把握するためのアンケートへ、市民の皆さまのご協力をいただきたいと思いますと考えております。

本調査は、市内にお住まいの 18 歳以上の市民の中から、2,500 人を無作為に抽出し調査票をお送りさせていただいており、また、アンケートは無記名式として、アンケート結果は計画策定のためだけに活用させていただきます。

ご多忙とは存じますが、本アンケートへのご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

令和 4 (2022) 年 7 月 南あわじ市

～アンケートの回答方法等について～

●回答方法は、本アンケート用紙による方法とインターネットによる方法の 2 種類です
(アンケート用紙による回答方法)

○回答は、この調査票をお送りしたあて名のご本人が無記名でお答えいただきますようお願いいたします。(ご本人で回答するのが困難な方は、ご家族等のご協力により回答してください。)

○回答は、ご自身のお考えにあてはまる又はお考えに近いと思う選択肢の番号をお選びいただきご回答ください。

○回答の中で「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが()内にその内容をご回答ください。

(インターネットによる回答方法)

○ページ右下の QR コードを読み取るか以下の URL にアクセスし、回答ページからご回答をお願いします。

インターネット回答ページ URL <https://questant.jp/q/●●>

(ご回答いただきたい期日)

○本アンケート用紙へご記入いただいた調査票は、令和 4 (2022) 年 7 月 ● 日 (●) までに同封の返信用封筒に入れて(切手を貼らずに)、お手数ですがお近くの郵便ポストへご投函ください。

○インターネットによるご回答は、令和 4 年 (2022) 年 7 月 ○ 日 (○) 23:50 までにご回答をお願いします。

ご協力の程何卒よろしくお願い申し上げます。

〈調査に関するお問い合わせ先〉

南あわじ市役所 総務企画部 ふるさと創生課

〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22-1

TEL 0799-43-5205 FAX 0799-43-5305

QR コード

QR コード

問6 あなたの住んでいる地区はどこですか。(ひとつに○)

| | | |
|---------------------|-----------------|--------------------|
| 1. 広田地区 | 2. 倭文地区 (旧緑町) | 3. 松帆地区 |
| 4. 湊地区 | 5. 津井地区 | 6. 阿那賀地区 (旧丸山小学校区) |
| 7. 阿那賀地区 (旧阿那賀小学校区) | 8. 伊加利地区 | 9. 志知地区 (旧西淡町) |
| 10. 榎列地区 | 11. 八木地区 | 12. 市地区 |
| 13. 神代地区 | 14. 倭文地区 (旧三原町) | 15. 志知地区 (旧三原町) |
| 16. 福良地区 | 17. 賀集地区 | 18. 北阿万地区 |
| 19. 潮美台地区 | 20. 阿万地区 | 21. 灘地区 |
| 22. 沼島地区 | | |

II. あなたが感じる男女平等の意識について

問7 現在、日本の社会での男女の地位は、どれにあてはまると思われますか。(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○)

| | 優遇されている 男性の方が非常に | どちらかといえば男性の 方が優遇されている | 平等である | どちらかといえば女性の 方が優遇されている | 優遇されている 女性の方が非常に | わからない |
|--|---------------------|--------------------------|-------|--------------------------|---------------------|-------|
| ① 家庭生活(家族の方針決定、家事・育児の役割分担など)では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ② 地域活動(自治会・PTAなどにおけるリーダー的立場の比率、役割分担など)では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ③ 学校教育の場(進学、専攻など)では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ④ 職場(採用、業務内容、昇進、昇級、職場環境など)では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑤ 法律や制度の上では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑥ 政治(政策決定)の場では | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑦ 社会通念・慣習・しきたりなどでは | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |
| ⑧ 日本全体の男女の地位は | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 |

問8 「男は仕事、女は家事・育児」という考え方がありますが、あなたはこの考え方に同感しますか。(ひとつに○)

| | |
|--------------|------------------|
| 1. 同感する | 2. どちらかといえば同感する |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば同感しない |
| 5. 同感しない | |

問9 日常生活における男女の役割分担について、夫婦のどちらが主に次のことをされていますか。

(それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○。

「A. 理想」はすべての方がお答えください。

「B. 現状」は配偶者がいる方のみ、子育て・介護に関する項目は該当する方のみお答えください。)

| | A. 理想 | | | | | B. 現状 | | | | |
|--------------------|-------|-------|-----|------|--------|-------|-------|-----|------|--------|
| | 主に夫 | 夫婦同程度 | 主に妻 | 夫婦以外 | どれもでない | 主に夫 | 夫婦同程度 | 主に妻 | 夫婦以外 | どれもでない |
| ① 生活費を得ること | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 食品などの買い物 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 食事のしたく | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 食事の後片付け | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ ゴミ出し | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 部屋の掃除 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 風呂の掃除 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 洗濯 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 家計の管理 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 子育て | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 学校行事などへの参加 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑫ 家族の看護・介護 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑬ 地域の行事参加、近所とのつきあい | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

問10 あなたは、次の項目についてどのように思いますか。
 (それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○。)

| | そう思う | そう思わない | わからない |
|---|------|--------|-------|
| ① 「親が単身赴任中」というと、父親を想像する | 1 | 2 | 3 |
| ② 体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだ | 1 | 2 | 3 |
| ③ 受付、事務補助、保育士という女性を思い浮かべる | 1 | 2 | 3 |
| ④ 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない | 1 | 2 | 3 |
| ⑤ 組織のリーダーは男性の方が向いている | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ 女性は感情的になりやすい | 1 | 2 | 3 |
| ⑦ 女性には女性らしい感性があるものだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑧ 男性は人前で泣くべきではない | 1 | 2 | 3 |
| ⑨ ドメスティック・バイオレンス(DV)と聞くと男性が暴力を たらしていると想像する | 1 | 2 | 3 |
| ⑩ 性的マイノリティ(LGBTQ※等)の人は、自身の職場や学校 など、身近な所にはいないと思う。 | 1 | 2 | 3 |

※LGBTQ…性的少数(セクシュアルマイノリティ)の人たちの総称。

Lesbian(女性同性者)、Gay(男性同性愛者)、Bisexual(両性愛者)、
 Transgender(性自認が出生時に割り振られた性別とは異なる人)、
 Questioning(性に関して、特定の枠に属さない、わからない人)の頭文字から成る。



Ⅲ. 職業生活における男女意識について

問 11 あなたの職業・職場についてどう思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 就職活動時に男女の不平等を感じた
2. 職務内容に男女の不平等を感じる
3. 給与や昇進に男女の不平等を感じる
4. 研修機会などが男女不平等である
5. 女性の意見や価値観が尊重されない
6. セクハラの実害にあったことがある
7. 身近にセクハラがあるのを知っている
8. 性別のために上司や取引先などから信頼されないことがある
9. 結婚したり、子どもが生まれたりすると勤めにくい
10. その他()

問 12 職業・職場を女性が活躍できる環境にするために、あなたは何が必要だと思いますか。(ひとつに○)

1. 職場のトップが女性の活躍の促進に積極的であること
2. 上司・同僚が、女性が働くことに理解があること
3. 男性も女性も、育児・介護が両立しやすい職場の支援制度が整っていること
4. 長時間労働の必要がないことや、勤務時間が柔軟であること
5. 身近に活躍している女性（ロールモデル）がいること
6. 女性の能力が適正に評価されること
7. 仕事の内容にやりがいがあること
8. その他()



問 13 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭生活(家事や育児、介護等)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合いなど)」のうち、優先したいこと(理想)、優先していること(現状)はどれですか。(①、②それぞれひとつに○)

| | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「地域・個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
|------|---------|-----------|---------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------------|
| ① 理想 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 現状 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

問 14 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響による働き方の変化を経験しましたか。(あてはまるものすべてに○)

| | |
|---------------|-----------------|
| 1. 変化なし | 2. 在宅と出社の併用になった |
| 3. 完全在宅勤務になった | 4. 雇用形態が変わった |
| 5. 休業した | 6. 失業した |
| 7. もともと働いていない | 8. その他() |

問 15 あなたは、新型コロナウイルス感染症の影響によって、収入が変わりましたか。(ひとつに○)

| | |
|----------|---------------|
| 1. 増えた | 2. 減った |
| 3. 変わらない | 4. もともと働いていない |



IV. 男女平等に関する様々な課題について

問16 あなたは配偶者等からのDVについて、経験したり、見聞きしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分が暴力を受けたことがある | 2. 自分が暴力をふるったことがある |
| 3. 身近に経験した人がある | 4. 知識として知っている |
| 5. 言葉は聞いたことがある | 6. 言葉も聞いたことがない |

問17 あなたは恋人からのデートDV※について、経験したり、見聞きしたことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

※デートDV…交際中の男女の間で生じる、身体的・精神的・経済的・社会的・性的暴力

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 自分が暴力を受けたことがある | 2. 自分が暴力をふるったことがある |
| 3. 身近に経験した人がある | 4. 知識として知っている |
| 5. 言葉は聞いたことがある | 6. 言葉も聞いたことがない |

【問16または問17で「1」「2」「3」に○をつけた方におたずねします】

問18 その時、あなたはどうしましたか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. 夫婦（恋人同士）で話しあった |
| 2. 家族や親族などに相談した |
| 3. 友人や近所の人に相談した |
| 4. 公的な機関に相談した |
| 5. 民間の機関に相談した（NPOなど |
| 6. 医療機関に相談した |
| 7. どこに相談したらよいかわからず、誰にも相談しなかった |
| 8. 相手が怖かったので、誰にも相談しなかった |
| 9. 自分ひとりで考え、解決しようとした |
| 10. 何もしなかった |
| 11. その他（) |

問 19 あなたは、セクシュアルハラスメント(性的いやがらせ)・パワーハラスメント(職権を濫用したいやがらせ)を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------|
| 1. いやがらせを受けたことがある |
| 2. 身近な人から相談を受けたことがある |
| 3. テレビや新聞などで問題になっていることは知っている |
| 4. 見聞きしたことがある |
| 5. 見聞きしたことはない |
| 6. その他() |

問 20 この設問はあくまで多様な性についての意識を把握するためにお聞きするものです。あなたは身近な人が性的マイノリティ(LGBTQ等)だとしたらどう思いますか。(ひとつに○)

| | 特に抵抗はない | やや抵抗がある | 抵抗がある | わからない |
|--------------|---------|---------|-------|-------|
| ① 近所の人 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 友人や職場の同僚 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ③ 自分の親やきょうだい | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ④ 自分の子ども | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 21 あなたは、性的マイノリティ(LGBTQ等)の人たちも暮らしやすい社会をつくるためにどのような取り組みが必要だと思いますか。(ひとつに○)

- | |
|--|
| 1. 同性婚を認めるなどの社会制度の見直し(法改正など) |
| 2. 教育現場での啓発活動(性的マイノリティに関する講演会や授業など) |
| 3. 様々な機会を通じた啓発活動(広報紙やポスターによる性的マイノリティに関しての発信など) |
| 4. 性的マイノリティについての専門の相談機関(電話相談や面接相談など) |
| 5. 性的マイノリティの人が安心して集まれるコミュニティスペース |
| 6. その他() |

問 22 防災・災害復興対策において、男女共同参画の視点から何が必要だと思えますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 防災訓練などへの積極的な女性の参加
2. 自主防災組織における女性の積極的な参加や活動の促進
3. 女性や乳幼児などに配慮した避難所設備や備蓄物資の確保
4. 避難所運営の責任者に男女がともに配置され、避難所運営や被災者対応に男女両方の視点が入ること
5. 被災者に対する相談支援体制の整備（相談しやすい環境づくり、同性の相談員の配置、女性への暴力に関する相談支援の実施等）
6. その他（)

問 23 学校教育の場で、男女平等を進めるためには、何が必要だと思えますか。
(あてはまるもの3つまでに○)

1. 学校生活の中での性別による役割分担を解消する
2. 男女の区別なく能力や個性を尊重した進路指導を行う
3. 人権尊重、男女平等についての教育を推進する
4. 「性」が人間の尊厳に関わることへの教育を充実させる
5. 男女がともに社会参画する視点からの職業体験や地域活動へ参加する
6. 男女それぞれの意見を尊重するような生徒指導を強化する
7. 教職員自身の男女平等教育への意識改革を行うよう、研修機会を充実させる
8. 学校全体で、男女平等教育に取り組む体制をつくる
9. 校長や教頭へ女性を積極的に登用する
10. P T A 研修などで男女平等教育への保護者の理解と協力を得る
11. その他()

V. 南あわじ市における男女平等参画について

問 24 政治や行政の場において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 女性の参画を積極的にすすめようと意識している人が少ない
3. 男性優位の組織運営
4. 家族の支援・協力が得られない
5. 女性の能力開発の機会が不十分
6. 女性の活動を支援するネットワークの不足
7. 女性の積極性が十分でない
8. その他 ()

問 25 男女共同参画を推進していくために、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるもの5つまでに○)

1. 男女平等について、女性への啓発・意識改革
2. 男女平等について、男性への啓発・意識改革
3. 男女平等についての学校教育の充実
4. 政治や行政への女性の参画機会の増大
5. 法律や制度の見直し・改善
6. 保育や介護サービスの充実
7. 女性の教育や職業訓練・研修機会の充実
8. 男性の料理教室など生活技術の習得機会づくり
9. 女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備
10. 企業や事業所への平等な雇用の啓発
11. 企業や事業所への労働条件や待遇の改善普及
12. 企業や事業所への育児・介護・看護のための休業制度等の普及
13. 人権や法律相談などの相談事業の充実
14. 男女共同参画推進に取り組む、ボランティア活動への支援
15. その他(具体的に)

その他、人権問題について考えておられることや提案、意見があれば、ご自由にお書きください。

お忙しいところ、最後までご協力いただき、誠にありがとうございました。

記入済みのアンケート調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**〇月〇日(〇)**までに郵便ポストに投函してくださいませう、お願いいたします。※名前は書かないでください。



男女共同参画に関する 事業所アンケートご協力のお願い

～アンケート調査の趣旨とご協力のお願い～

市民の皆様には、日頃より市政へのご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

南あわじ市は、平成 30 年度から令和 4 年度までを計画期間とする「第 2 次南あわじ市男女共同参画計画」を策定し、「男女がともに希望をもち自分らしく活躍できるまち」の実現をめざし取り組みを進めています。

本市では、引き続き男女共同参画社会づくりに取り組むため、次期計画(第 3 次)を策定したいと考えており、このため、市内事業所従業員の就労分野における男女の共同参画や仕事と家庭の両立支援等、事業者の皆さまのご協力をいただきたいと思います。

結果は本計画の策定においてのみ使用し、他の目的に使用することはありません。また、個人情報保護法に基づき、適切な管理を行います。

ご多忙とは存じますが、本アンケートへのご理解、ご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

令和 4 (2022) 年 7 月 南あわじ市

～アンケートの回答方法等について～

- 回答は、事業所の代表者の方がお答えください。
- 回答は、あてはまる**選択肢の番号**を○で囲んで頂くか、設問に応じて、**数字または文章**をご記入ください。
- 回答の中で「その他」を選ばれた場合は、お手数ですが**() 内にその内容をご回答**ください。

貴事業所のお名前をお答えください。

| |
|--|
| |
|--|

〈調査に関するお問い合わせ先〉

南あわじ市役所 総務企画部 ふるさと創生課

〒656-0492 兵庫県南あわじ市市善光寺 22-1

TEL 0799-43-5205 FAX 0799-43-5305

I. 貴事業所の概要についておたずねします

問1 貴事業所の主な業種についてお答えください。(ひとつだけ○)

| | | |
|-----------|-------------------|-------------|
| 1. 建設業 | 2. 製造業 | 3. 卸売・小売業 |
| 4. 金融・保険業 | 5. 不動産業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 医療、福祉 | 8. 教育、学習支援業 | 9. 飲食店、宿泊業 |
| 10. 運輸業 | 11. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 12. 農林業 |
| 13. 漁業 | 14. その他サービス業 | 15. その他 () |

問2 貴事業所の従業者の状況（市内に所在する支店、工場単位で）についてお聞きします。それぞれの人数をお書きください。

| | 男性 | | 女性 | |
|--------|-------|---|-------|---|
| 正規従業者 | | 人 | | 人 |
| | うち外国人 | 人 | うち外国人 | 人 |
| うち管理者 | | 人 | | 人 |
| | うち外国人 | 人 | うち外国人 | 人 |
| 非正規従業者 | | 人 | | 人 |
| | うち外国人 | 人 | うち外国人 | 人 |

※ 課長級以上を管理職としますが、事業所の判断でご記入ください。

問3 貴事業所の、6月分として算定された男女別の平均給与をお書きください。

| 男性 | 万円 | 女性 | 万円 |
|----|----|----|----|
|----|----|----|----|

※ 平均給与には、超過労働給与額、通勤手当、精皆勤手当、家族手当等を含み、賞与等の年間を基準として支給するものを含みません。

II. 男女共同参画の状況をおたずねします

問4 貴事業所ではハラスメント(セクシャル・ハラスメント、パワー・ハラスメント)に対する対策を講じていますか。(あてはまるものすべてに○)

| | セクシャル ・ハラスメント | パワー ・ハラスメント |
|-------------------------------------|------------------|----------------|
| 1. 特に対策は講じていない | 1 | 2 |
| 2. 倫理規定や行動基準を就業規則に定めている | 1 | 2 |
| 3. ハラスメント防止のための社員研修を実施している | 1 | 2 |
| 4. ハラスメントの相談、苦情を受ける相談窓口を設置している | 1 | 2 |
| 5. 相談窓口担当者に女性をおいている | 1 | 2 |
| 6. ハラスメントが発生した場合に適正な対応を行うしくみをつくっている | 1 | 2 |
| 7. 顧問弁護士やカウンセラー等に依頼できるようにしている | 1 | 2 |
| 8. 社内報や啓発資料等を活用して、従業者の意識啓発を行っている | 1 | 2 |
| 9. その他 () | 1 | 2 |

問5 貴事業所ではマタニティ・ハラスメントに対する対策を講じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特に対策は講じていない
2. 妊娠した従業者をフォローする周囲の従業者に対する評価制度を整備している
3. 育児に携わったことのある女性をマネジメント・経営陣に登用し理解を深めるようにしている
4. 育児に携わったことのある男性をマネジメント・経営陣に登用し理解を深めるようにしている
5. 職場において適切な人員補充を行っている
6. 男性従業者が育児に参加できる制度整備や実行できる空気づくりに努めている
7. 休業または復帰しやすくなる制度を整備している
8. 事業所内保育を整備、拡充している
9. 社内報や啓発資料等を活用して、従業者の意識啓発を行っている
10. 職場の慢性的な長時間労働を緩和したり是正している
11. 従業者同士のコミュニケーションを促進し、風通しの良い職場にしている
12. その他 ()

問6 貴事業所では働きやすい職場づくりの対策を講じていますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 特に対策は講じていない
2. チーム単位で業務を進めるなど、従業者が休暇を取っても支障がないようにしている
3. 育児又は介護のため休暇が必要な従業者の希望は聞き入れている
4. 法律で規定する以上の育児又は介護休業期間の取得を認めている
5. 勤務時間短縮等の措置や時間単位での有給取得制度を導入している
6. 在宅勤務制度やフレックスタイム制を導入している
7. 育児又は介護の施設やサービスを利用するための援助金を出している
8. 報酬に育児又は介護手当をつけている
9. 育児又は介護休業制度を導入している
10. 4～9のような制度上の定めはないが、従業者の健康や障がい、家庭状況等を考慮し、必要に応じて柔軟な働き方を認めている
11. その他 ()

Ⅲ. 女性活躍・多様な人材の活躍に向けたお考えをおたずねします

問7 貴事業所では、女性の雇用・管理職登用が進んでいると思いますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 進んでいる | 2. どちらかといえば進んでいる |
| 3. どちらかといえば進んでいない | 4. 進んでいない |

問7で「3」「4」を選択された方にお伺いします。

問8 女性の雇用・管理職登用が進んでいない理由にはどのようなことがあると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 女性社員がないから
2. 特に女性だけを対象にした取り組みをする必要はないと考えるから
3. 女性自身に管理職等の意向がないから
4. 育児休業時の対応など、人事管理が複雑になるから
5. コストや労力がかかるから
6. その他 ()
7. わからない

問9 貴事業所では、女性が管理職に就くことについてどのようにお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 意欲と能力のある女性は、どんどん管理職に就いた方がよい
2. 女性の多い職場であれば、管理職に就いた方がよい
3. どちらかという管理職は男性がよい
4. 現状では、管理職に就くだけの経験や能力を備えた女性は少ない
5. 女性は、家事や子育て、介護等の負担も大きく、管理職に就くのは難しい
6. その他 ()

問10 人手不足解消のため、女性や高齢者など、多様な人材の力を活用することについてどのようにお考えですか。(最も考えに近いものひとつに○)

1. 特に人手不足等の課題はない
2. 積極的に活用していきたい
3. 業務に関する知識を有する人材であれば、活用していきたい
4. 特に活用は考えていない
5. その他 ()

その他、男女共同参画のために必要と感ずることや、ご意見があればご記入ください。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

男女共同参画についての高校3年生の意識調査

現在南あわじ市では、性別に関わらず全ての人が共に活躍するまちをめざして、「第3次南あわじ市男女共同参画計画」の策定を進めています。

そこで、この計画をつくるにあたって、若者のみなさんが、日常で男女の平等についてどのように考えているかを把握するため、アンケート調査を実施することになりました。率直なお考えやご意見をご記入ください。よろしくお願いいたします。

令和4年7月 南あわじ市

★ご記入にあたってのお願い

回答は、番号を選択していただくものと直接お考えを記入いただくものがあります。質問の後ろにある（ ）の中身に沿って、ご回答ください。

問1 あなたの性別はどちらですか。(ひとつに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. どちらでもない | 4. 回答したくない |

問2 「男は仕事、女は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか？ (あてはまるもの1つに○をつけてください。)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 同感する | 2. どちらかといえば同感する |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば同感しない |
| 5. 同感しない | |

問3 次の内容について、あなたはどう思いますか？

(それぞれの項目であてはまるもの1つに○をつけてください。)

| 項目 | 思う | 思わない | わからない |
|--------------------------------|----|------|-------|
| ①「親が単身赴任中」というと、父親を想像する | 1 | 2 | 3 |
| ② 体力的にハードな仕事を女性に頼むのはかわいそうだ | 1 | 2 | 3 |
| ③ 受付、事務補助、保育士という女性を思い浮かべる | 1 | 2 | 3 |
| ④ 家事・育児は女性がするべきだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑤ 男性は仕事をして家族の生活費を稼ぐべきだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑥ 共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑦ 共働きで子どもの具合が悪くなった時、母親が看病するべきだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑧ 女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない | 1 | 2 | 3 |
| ⑨ 生徒会長などの組織のリーダーは男性の方が向いている | 1 | 2 | 3 |
| ⑩ 女性は感情的になりやすい | 1 | 2 | 3 |
| ⑪ 女性には女性らしい感性があるものだ | 1 | 2 | 3 |
| ⑫ 男性は人前で泣くべきではない | 1 | 2 | 3 |

男女共同参画についての職員意識調査

現在南あわじ市では、性別に関わらず全ての人が共に活躍するまちをめざして、「第3次南あわじ市男女共同参画計画」の策定を進めています。

そこで、職員の皆様の男女共同参画に関する意識の状況を把握し、男女共同参画行政を推進するために、アンケート調査を実施することになりました。率直なお考えやご意見をご記入ください。よろしくお願いいたします。

令和4年7月 南あわじ市

★ご記入にあたってのお願い

回答は、番号を選択していただくものと直接お考えを記入いただくものがあります。質問の後ろにある（ ）の中身に沿って、ご回答ください。

I. あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたの性別はどちらですか。(ひとつに○)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
| 3. どちらでもない | 4. 回答したくない |

問2 あなたの年代はおいくつですか。(ひとつに○)

- | | | |
|-------------|----------|-----------|
| 1. 10～20 歳代 | 2. 30 歳代 | 3. 40 歳代 |
| 4. 50 歳代 | 5. 60 歳代 | 6. 70 歳以上 |

問3 あなたの職位はどれにあたりますか。(ひとつに○)

- | | | |
|--------|--------|--------|
| 1. 一般職 | 2. 監督職 | 3. 管理職 |
| 4. 技能職 | 5. 保育職 | |

問4 あなたはお子さんがいますか。また、何人いますか。(ひとつに○)

- | | | |
|---------|-----------|---------|
| 1. いない | 2. 1人いる | 3. 2人いる |
| 4. 3人いる | 5. 4人以上いる | |

問5 あなたの同居の家族構成はどれにあたりますか。(ひとつに○)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 夫婦のみ |
| 3. 夫婦と子(2世代) | 4. ひとり親と子(2世代) |
| 5. 親と子と孫(3世代) | 6. その他() |

Ⅱ. 職場での男女平等参画の状況について

問6 あなたは今の職場において男女共同参画は進んでいると思いますか。(それぞれの項目であてはまるものひとつに○)

| | 男性が優遇されている | どちらかと言えば男性が優遇されている | どちらかと言えば女性が優遇されている | 女性が優遇されている | わからない |
|----------------|------------|--------------------|--------------------|------------|-------|
| ① 募集・採用 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ② 昇任・昇格 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ③ 能力評価 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ④ 能力発揮の機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑤ 仕事の内容 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑥ 雑務の分担 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑦ 労働時間 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑧ 有給休暇の取得 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑨ 研修や教育訓練の参加機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑩ 出張や会議の参加機会 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |
| ⑪ 全体を通して | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

Ⅲ. ワークライフバランスの状況について

問7 あなたの生活の中での、「仕事」、「家庭生活(家事や育児、介護等)」、「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・付き合いなど)」のうち、優先したいこと(理想)、優先していること(現状)はどれですか。(①、②それぞれひとつに○)

| | 「仕事」を優先 | 「家庭生活」を優先 | 「地域・個人の生活」を優先 | 「仕事」と「家庭生活」をともに優先 | 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 | 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先 |
|------|---------|-----------|---------------|-------------------|-----------------------|-------------------------|------------------------------|
| ① 理想 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |
| ② 現状 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 |

問8 ワークライフバランスの推進に向けて、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものひとつに○)

1. 残業を減らす
2. 年次有給休暇をしっかりとる
3. 仕事の段取りを工夫する
4. 効率よく仕事をする
5. 家事能力を高める
6. 自己啓発・能力向上に取り組む
7. 私生活で興味を持てる活動を探す
8. 自分のための時間をつくる
9. 地域活動、NPOに参加する
10. 消費者として企業や商店に過剰なサービスを求めない
11. その他()

問9 問8のような取組により、理想とするワークライフバランスが実現した場合、どのように時間を使いたいと思いますか。(あてはまるもの2つまでに○)

1. 専門的な資格取得、研修の受講などの自己啓発・能力向上
2. 家族とのコミュニケーション
3. 地域活動への参加
4. 趣味やりフレッシュ
5. 定期的な運動や食生活の見直しなど、自身の健康づくり
6. その他()

IV. 介護・育児の休業制度等について

問 10 あなたは、本市の福利厚生制度について知っていますか。

(制度の内容まで知っているものすべてに○)

| | | |
|-----------|---------------|------------------------------|
| 1. 年次有給休暇 | 6. 地域手当 | 10. 期末・勤勉手当（ボーナス） |
| 2. 病気休暇 | 7. 通勤手当 | 11. 管理職手当 |
| 3. 介護休暇 | 8. 住宅手当 | 12. 研修制度 |
| 4. 特別休暇 | 9. 超過勤務手当（残業） | 13. 共済組合（短期給付事業、長期給付事業、福祉事業） |
| 5. 扶養手当 | | |

問 11 あなたは、育児や介護を行うために、これまでに育児休業・介護休業制度を利用したことがありますか。また、今後利用したいと思いませんか。（それぞれの項目について、あてはまるものひとつに○）

| | ある 利用 した こと が | 利用 した こと は ない が、 必要 が あ れば 利用 した い | 利用 した い が、 抵 抗 が あ る | 利用 した く な い |
|----------|---------------------------|--|--|-------------------------|
| ① 育児休業制度 | 1 | 2 | 3 | 4 |
| ② 介護休業制度 | 1 | 2 | 3 | 4 |

問 12 育児休業・介護休業制度を利用しようとする上で、どのようなことが支障となりますか。（あてはまるものひとつに○）

| |
|------------------------|
| 1. 担当業務の遂行に支障が出る |
| 2. 代替要員の確保が難しい |
| 3. 他の職員の負担が増える |
| 4. 昇任・昇格の不利になる |
| 5. 復帰後、仕事に対応することが困難になる |
| 6. 職場内の制度利用への理解が不十分である |
| 7. 休業すると経済的に生活が厳しくなる |
| 8. 特に支障となることはない |
| 9. わからない |

V. 女性活躍の推進について

問 13 南あわじ市における女性職員の活躍(職域の拡大、管理職への登用等)は進んでいると思いますか。(あてはまるものひとつに○)

1. 進んでいる
2. あまり進んでいないが、やむを得ない
3. 不十分であるため、更なる取り組みが必要
4. わからない
5. その他

【問 13 で「2」「3」に○をつけた方におたずねします】

問 14 政治や行政の場において、政策の企画や方針決定の過程に女性の参画が少ない理由は何だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
2. 女性の参画を積極的にすすめよう意識している人が少ない
3. 男性優位の組織運営
4. 家族の支援・協力が得られない
5. 女性の能力開発の機会が不十分
6. 女性の活動を支援するネットワークの不足
7. 女性の積極性が十分でない
8. その他 ()

問 15 男女共同参画を推進していくために、南あわじ市としてどのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの5つまでに○)

1. 男女平等について、女性への啓発・意識改革
2. 男女平等について、男性への啓発・意識改革
3. 政治や行政への女性の参画機会の増大
4. 法律や制度の見直し・改善
5. 保育や介護サービスの充実
6. 女性の教育や職業訓練・研修機会の充実
7. 男性の料理教室など生活技術の習得機会づくり
8. 女性が安心して妊娠や出産、子育てができる環境の整備
9. 人権や法律相談などの相談事業の充実
10. 男女共同参画推進に取り組む、ボランティア活動への支援
11. その他(具体的に)

その他、男女共同参画について考えておられることや提案、意見があれば、ご自由にお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。